

あなたとお寺をむすぶ架け橋、お寺の元気をお届けします



境内参道整備事業終了

5年後の大法要では正式に落慶式典がお勤めされます

令和元年10月よりはじまりました開創三百周年記念事業ですが、境内参道整備・舗装工事が無事終了いたしました。皆様のご理解ご協力あって、今後数百年残るものとなりました。物心両面にわたり支えてくださりありがとうございました。今回のご寄付

で特別寄付をしていただいた方のお名前の刻銘、また新しいお地藏様のところには花立て、ろうソク立て、香炉も設置予定です。これから5年後の記念法要に向け少しずつ準備もはじまっております。引き続きどうぞ温かくお見守りください。



夜間は防犯も兼ねLEDでライトアップされています。

初夏のお寺のできごと

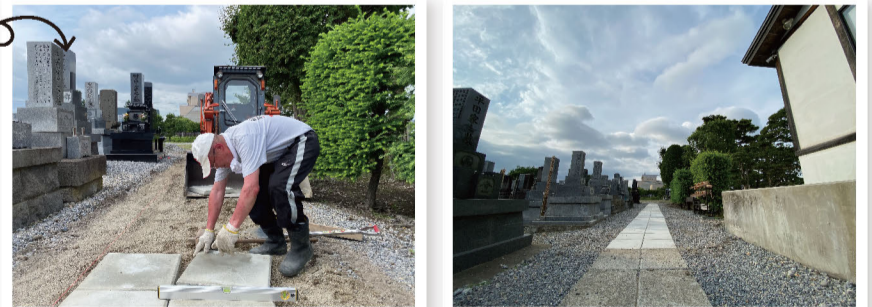
本堂で演奏会

チェンバロやバンドネオンなどの楽器が堂内にこちよく響きわたりました



6月19日(日)はひさびさにお寺で音楽会がひらかれました。コロナでなかなか行事もひらきにくかったですが、ワクチン接種が進み、世間もようやく人が集いやすい雰囲気が出てまいりました。今回は、函館ではおなじみチェンバロの森洋子さんとパーカッションの小田桐陽一さんとともに、新たに東京からバンドネオンの演奏者大久保かほりさんとリコーダーの飯塚直さんが参戦。バロック時代の楽器から、ふだん目にすることのないバンドネオンなど、異質な楽器が本堂で出会う、おもしろい企画。投げ銭制でお気持ちを演奏者におつつみするというかたちで、大人から未就学児まで50人ほじの方が、本堂で生演奏にひたる、ステキな演奏会となりました。

本堂と墓地の間の歩道。去年は境内工事で不要になったコンクリートブロックを途中まで敷きましたが、引き続きコンクリートの平板を購入し、残りを敷きました！お盆では歩きやすくなっているはずですよ！



毎月お寺を会場に行われているフードパントリーですが、7月は縁日みたいにかき氷と炭火焼ウイナーも提供しました！あいにくの雨でしたが、子どもたちは大喜び！

現在、お寺の庫裡(くり)の外壁の修繕をしています。雪害により、外壁の腐れや基礎コンクリート部分の鉄筋がむき出しになっている部分などです。長期的に使用する建物ですからメンテナンスを入念に。保険会社より雪害認定され支払われた保険金により工事が行われています。



大本山総持寺で8年間修業したブラジル人の禅僧ブルーノ正栄さんが広徳寺にお参りくださいました！今後はパラグアイのお寺の住職として活躍するそうです！いつか訪問してみたいですね！



お寺のエントランスホールの複層ガラスが内部結露していたため、全面交換工事が行われました。





葬儀から帰ってくると住職が遠くで作務をしているのが見えた。

お参りがつづいていた後だったので、見て見ぬふりをしようかと思ったが、境内のベンチに両手の荷物を置き見に行ってみる。

墓地と本堂との間の道に、コンクリートの平板を並べ歩道を作っていた。

数日前から、コンクリートの平板が70枚ほど届き裏庭に積まれていたので、まさかとは思っていたが、一人でもくもくと作業をしている。

連日の雨の合間の晴れの日。

腕と顔を真っ赤にしてコンクリートを運び砂を敷き平衡をとり並べていく、たんたん。



「手伝いますか」と聞くと、「ああ」という。

部屋に戻って着替えて私も一緒に平板を運ぶ。(何もこんなお参りの多い、お盆の準備の忙しいときでなくとも…)

と心の中でつぶやくと、

「更に何(いず)れの時をか待たん」

という典座(てんぞ・台所担当)和尚の声が聞こえてくる。

800年前、道元禅師が中国で修行していた時に会った用(ゆう)という老和尚の言葉。用典座は杖をつき、頭には笠さえかぶらず、太陽の照りつける日に汗を流しながら、仏殿の前で海藻を干していた。

道元禅師は近寄って尋ねた。

「おいくつなのですか？」

「68歳」

「なぜそんなお年で…下役の人にさせたらどうですか？」

「他人のしたことは自分のしたことになる」

「ではなぜ、こんな暑い日に敢えてするのですか？」

「海藻を干すなら暑いときにやらないと。今やらないで

いつやるのか」

(更に何れの時をか待たん)

何度も心に反芻しながらのコンクリート作務でした。

知って納得。

お経のはなし 「大悲心陀羅尼」



今回ご紹介するお経は、ナムカラタンノトラヤーヤーではじまる「大悲心陀羅尼(だいひしんだらに)」。曹洞宗をはじめ、禅宗と呼ばれる宗派でよくお唱えされるお経です。お盆のお墓経やご法事、ご先祖供養、お寺参りなど、追善供養(ついぜんくよう)で読経されます。

どんなお経? ▶お経には陀羅尼と漢訳仏典の二種類があります。

お経には二種類あり、インドで書かれたお経にインドの言葉の発音のまま漢字をあてているお経(陀羅尼・だらに)と、中国語に翻訳されたお経(漢訳仏典・かんやくぶつてん)とがあります。中国語に翻訳されたものは意味が非常に分かりやすいのですが、「大悲心陀羅尼」は前者で、意味よりも、唱えること自体に功德があるお経です。



どんな意味? ▶千手観音様の利益が説かれたお経に収められている呪文です。

「大悲心陀羅尼」は「千手千眼観世音菩薩広大円満無礙大悲心陀羅尼経」というナガーイタイトルのお経(略して「千手経」)に収められています。名前の通り、千手観音様のお経であり、千の手と千の眼で私たちを苦難から救ってくださることが説かれています。その千手観音様が教示した強力な呪文が「大悲心陀羅尼」で、それを唱えることで様々な利益があります。

どんな利益?

「千手経」の中では、国王が唱えれば国家安泰・五穀豊穡、またどんなものでも唱えれば、すべての病気を治し、すべての悪魔や外道をやっつけ、安産のおまもりなどたくさんの利益があると説かれています。

ここに注意して聞いてみよう!

「ナムカラタンノトラヤーヤー」とは「南無帰依三宝(仏法僧の三宝に帰依します)」ということ、何度も出てくる「ソモコー」は、円満・成就・息災などの願いが届くように祈る古いインドの言葉です。

重要!

秋のお寺参り日程変更のお知らせ

11月18日(金)と案内していましたが秋のお寺参りは 10歳になりお坊さんの一歩を踏み出します。
11月20日(日)に変更となります。

とうげん とくどしき
長男董元の得度式(お坊さん入門の儀式)が予定されています

夏のお寺の行事予定

8/20(土) 9/24(土) 10/22(土) 11/26(土)

お寺でボディメイク

午後6時半より(1時間)

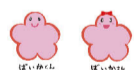
費予約
毎加費千円
月一回



シルバー世代への体操を指導している水戸麻衣子先生がインストラクター

新型コロナウイルス感染防止対策として、行事の参加にはマスクの着用・手指の消毒をお勧めしております。各行事は十分な換気・ソーシャルディスタンスを考慮した内容としております。体調不調ある方は行事の参加をお控えください。感染状況を鑑みて行事を中止する場合もございます。

梅花流詠賛歌



御詠歌(ごえいか)をいっしょにお唱えする仲間を探しています。お仕事でいそがしいその手を休め、おかし懐かしい日本のメロディーを楽しみませんか?

朝のおつとめ

毎朝6時40分より本堂にて朝のおつとめをしています。15分ほどです。手ぶらでお越しください。何も無い本堂に身をゆだねるところから一日をさわやかに始めてみましょう。

仏事

Q. 「お位牌(いはい)とは何ですか?」

A. 「亡き人を祀(まつ)るものです」

お位牌とは、亡き人に手を合わせるもの。戒名や俗名、亡くなった年月日、享年を記します。

よくご法事で子どもさんがいたらお話しする話があります。「お位牌(いはい)の前で手を合わせて座るといことは、亡き人の遺骨の前で坐るといこと。亡き人の棺の前で手を合わせて座るといこと。亡き人の亡骸、

今まさに息を引き取ろうとするその人の前で座るといこと。今は亡きその人がこちらを向いて一緒に静かに座り手を合わせていること。そうすると、いつもと何だか違う気がするね。息をしているということが何だか不思議で、ありがたいね。自分一人のことではないんだね。子どもはわかったんだか、わかっていないんだかわからない顔をしています。大人の私たちはおろそかにすべきではありません。先祖のい

のちにふれるということは、自分のいのちにふれるということ。自分のいのちにふれるということは、まだ生まれていない人間たちのいのちを感じるということ。私が知っているよりも広大で時間軸の長い、いのちを感じ取るものとして大切にしたいものです。お位牌はもともとは中国の儒教から始まったもののように鎌倉時代に禅宗がとり入れたのが日本ではじまりのようです。